

ケベック州 概観



Photo: Al Seib / Costume: Dominique
Lemieux © 2003 Cirque du Soleil

人口 文化の多様性により変る ケベック社会の姿。

今でも毎年、州外から数万人が
この地に転入している。

ケベック州にはカナダ全体の人口の1/4に近い770万人の人たちが住む。州の南部、モントリオール地方を中心としたセント・ローレンス川の河畔に人口の半分が集中している。

大多数はフランス系であるが、英国系も多く、全体的にはヨーロッパ系が多いといえる。20世紀初頭以来、ヨーロッパ、アフリカ、ラテンアメリカおよびアジア地域からやってきた移民は70万人ほどいる。外国をルーツとする住民の割合が高く、そのうちの10%の人たちはカナダ外で生まれている。アメリカンインディアン系10種族、イヌイット系1種族が、ケベック州人口の1%を占めている。



ご存知でしたか？
1948年1月21日、
ケベック州の
「ユリの花」の州旗が、
初めてケベック州議会の塔
に掲げられた。

ご存知でしたか？
ケベック州の
記念日は
6月24日。

ご存知でしたか？
ケベック州は面積で
世界第18位。

領土

フランス国土面積の3倍、
日本の5倍、
アラスカより大きい。

アメリカ大陸の北東に位置するケベック州は、風景や気候の多様性から、コントラストの地といえる。

170万平方キロメートルの面積を有するケベック州は、カナダ連邦を構成する10州の中で最大である。100万の湖沼と河川があり、1,200キロメートルにわたりセント・ローレンス川が流れている。海のような風景に富むこの伝説的な川は、世界でも有数の広大な航行可能河川であり、季節を問わず舟を使つての内陸アクセスができる。

この川に沿って2本の山脈が連なり、壮大な森林が州の半分以上を覆っている。南部のボレアルの森、中部の針葉樹林、ヌナビック地域の広大な地にそびえたつトーンガット山脈が広がる北部のツンドラなど、樹木の種類も豊富である。

言語

1974年以来ケベック州の公用語となったフランス語は、カナダの公用語でもある。ケベック州では、フランス語が、職場、教育、コミュニケーション、商業、ビジネスの現場で通常使用される。

ケベック州社会はフランス語圏に属する。州民の83%は家庭でフランス語を使い、10%は英語、6%はそのほかの言語である。ケベック州民のバイリンガル率（仏語と英語）は40%以上とカナダではもっとも高い。なかでもバイリンガル率が57%と抜きん出ているのはモントリオールで、ここでは住民の22%がさらに第三の言語も話せる。

「フランス語憲章」は、ケベック州民で、英語を話す人、その他の言語を母国語とする人、原住民の言語を尊重しながら、フランス語を保護し、その利用が推進されることを目指している。この憲章により、英語系のマイノリティは英語で教育を受ける権利を保障され、健康や、社会保障サービスの全てを英語で受けることもできる。さらにはアメリカンインディアン系、イヌイット系のケベック州民に対しても、自分達の言語や、独自の文化を維持し、発展させることが認められている。



制度

1792年設立のケベック州議会は、世界で最も古い歴史を持つ議会の一つである。

ケベックの政治制度は英国のそれをモデルとしており、司法制度はナポレオン法典に端を発するフランス私法（体系法）とイギリスの公法（コモン・ロー）の両方の流れを汲んでいる。

州議会

立法権は議会に属する。一選挙区ごと一名選出の小選挙区制で、定員は125名である。ケベック州での総選挙は、少なくとも5年に一回は実施される。有権者は候補者のなかから一名を選び、一度だけ投票する、多数決制である。投票権は、18歳以上でケベック州在住六ヶ月以上のカナダ国民すべてが、有する。当選議員のもっとも多かった政党の党首が首相となり、組閣をはかる。

先駆的な諸法令

時代の経過とともに、ケベック州は社会の発展に貢献する法令を整備し、これらは世界の各地で法律を作る際のモデルにもなっている。

- 1975年：「ケベック州 人権と自由の憲章」は、基本的人権を確認し、保護する。
- 1977年：「フランス語憲章」は、フランス語の保護と推進を目指す。
- 1977年：「政党への融資に関する法律」は、政党への選挙資金の支援について公正さと透明性確保の原則を定めている。
- 1982年：「公的機関が保管する資料へのアクセス及び、個人情報保護に関する法律」は、1994年の「民間が保管する個人情報保護法」によりさらに強化された。
- 1997年：「公正なる賃金に関する法律」は、女性の労働に正当なる価値を認め、同一労働・同一賃金の原則を確認する。
- 2001年：「親業に関する法律」は、子供の誕生または養子縁組により親となった者が、子育て休暇を申し出た場合の、子育て手当で給付制度について規定する。



Photo: Jean Désy

歴史上重要な年代

1534年

ジャック・カルティエ、ガスペ半島に着岸。フランス国王の名において領地を取得。これが後にカナダとなる。

1608年

サミュエル・ド・シャンプラン、ケベック市を設立。ケベックとはアルゴンキン族の言葉で「狭い通路」を意味し、このあたりで川幅が狭くなっていることに由来する。

1642年

ポール・ド・ショメド・ド・メゾヌーヴは後、18世紀にモンリオールとなるヴィル・マリーを設立。

1759年

アブラハム平原の戦いで、仏軍が英軍に屈する。

1763年

パリ条約により、フランス国王がニューフランスをイギリス王に割譲。これをきっかけとして、イギリス人、アイルランド人、スコットランド人のカナダへの移住が始まる。

1774年

ケベック法により、ケベックにおいてカトリックの布教、フランス語の使用、フランス民法の施行が認められる。

1791年

カナダ立憲条例により、2つの州の制定が決まる。英語圏のアップー・カナダ（オンタリオ州）とフランス語圏のロウワー・カナダ（ケベック州）である。

1867年

英領北アメリカ法の制定により、カナダ4州の連邦化が決定。ケベック、オンタリオ、ニューブランズウィック、ノヴァ・スコシアの4州である。



Photo: Jean Déry

教育

労働人口の60%以上が、高等教育、または大学教育の卒業資格を有している。

経済協力開発機構(OECD) 統計によると、高等教育への進学率は世界でも有数のレベルである。

毎年、ケベック州の高等教育機関は、25,000人の外国からの留学生を受け入れている。

ケベック州が教育に当てる予算は、GDPの7.8%を占め、これも高い水準である。

教育制度は公的機関と私的機関により支えられている。公的機関によるものは、全日制の場合、全てのケベック州居住者に対しては中等教育までは授業料無料である。また大学の授業料は、カナダ及びアメリカ合衆国のなかでは、もっとも低い額である。学生には、豊富で、かつ質の高いカリキュラムが用意されている。職業技術教育に関しては300件のプログラム、大学教育については3,000ほどのプログラムから希望するものを選ぶことができる。

健康

現在、ケベック州の平均寿命は女性83歳、男性78歳である。

ケベック州の社会保障制度は、提供されるサービスの充実、利用しやすさ、無料、という点が特長である。無料健康サービスには、個人医院、総合病院などで受診できる治療、そのほか医療行為が含まれる。

ケベック州民は健康維持に必要とされる医薬品について、所得の如何を問わず、妥当かつ公正な価格で購入することができる。

1960年

ケベック州は「静かな革命」と称する近代化の段階に入る。福祉、健康、教育、経済発展など種々の改革が実施される。この時代、州内の力量を外でも発揮す

べしとの原則に従い、国際社会での地位を確立。

1974年

フランス語がケベック州の公用語となる。

1975年

「ベイ・ジェームズ・北部ケベック協定」をクリー族、イヌイット族、ナスカビ族と締結する。これにより、多くの権利がこれらの種族に認められる。2002年にケベック州政府はクリー族と「ブラーブ平和協定」を締結。

1980年

ケベック州と他諸州の間で「主権一連合」の交渉を開始すべき住民投票でその是非を問い、その結果、60%の州民が反対。

1995年

州民投票の結果、50.5%の州民が、他のカナダ諸州とのパートナーシップに付随してケベック主権を認める、という案に反対。

2003年

ケベック州のイニシアティブのもと、カナダ諸州が連邦議会を設立。

2006年

カナダケベック協定で、ケベック州の国際的役割を確認。カナダ政府代表部を通じてケベック州がユネスコのあらゆる活動に参加することが認められる。

文化

ケベックの創造性は、文化とコミュニケーションの分野でおおいに発揮されている。これはケベック州のアイデンティティ確立に役立ち、多大な経済的効果をも生み出している。

ケベックの優れたクリエイターやアーティストは海外においても高い人気を博している。例えばここ20年来、ケベックのサーカスは目を見張るほどの躍進を遂げている。それは、モンリオール ナショナル サーカス スクールやシルク・デュ・ソレイユによるサーカスの見直しが功を奏したのである。シルク・エロワーズ、レ・セット・ドワ・ド・ラ・マン(7本の指)、キャバリアなど続々と新しいサーカス団が誕生し、海外公演も果たし、世界の大都市で大勢の観客を動員している。

音楽の分野では、多くの作曲家、ミュージシャンが国際舞台で聴衆を魅了している。ケベック州の文化大使ともいえる彼らの活躍は、クラシック(モンリオール交響楽団、ヴィオロン・デュ・ロワ)からフランス語系ポップス(ピエール・ラボワント、リンダ・ルメイ、アリアンヌ・モファット)、ロック(アルカド・ファイア、マラジュブ)、エレクトロニック音楽(ティガ、アキュフェヌ)、ネオトラディショナル(ラ・ボッティンヌ・スリアントウ、レ・バテンヌ)などあらゆるジャンルにわたっている。

ドゥニ・アルカン、ジャン・マルク・バレ、フィリップ・ファラルド、イブ・シモノ、スティーブン・ヴォロセン(アニメ映画の第一人者)などの活躍に支えられているケベック映画は海外においても高く評価されている。国際映画祭での栄えある受賞も多い。テレビ番組は、ケベックで製作されたバラエティ番組からドラマまで、多くの作品が諸外国で放送され、人気を得ている。

演劇の分野では劇作家、演出家(ロベール・ルパージュ、ワジ・ムアワッド)の成功も忘れてはならない。さらにはコレグラファー(マリー・シュイナル、ダヴ・サン・ピエール、エドワード・ロック)、ダンス・カンパニー(レ・グラン・バレ・カナディアン・ド・モレアル、レ・バレージャズ・ド・モレアル)、又、作家(ミシェル・トランブレ、マリー・ラベルジュ、ニコル・プロサル)など、枚挙にいとまがない数多くの芸術家やクリエイターが、ケベックのアイデンティティ形成に貢献している。



観光

ケベック州は、年間約700万人の観光客を迎え、訪れる人々を魅了し続けている。近代的な街並み、雄大な自然、美味しい料理、生活様式、すべて魅力的である。

ケベック市は、ダイヤモンド岬の頂上に位置し、ヨーロッパ的魅力に溢れた古都である。歴史地区では北米独特の建築が見られる。古い町並みに沿って、有名なレストラン、ファッションブティック、骨董店、美術ギャラリー、美術館、古い教会が軒を連ね、そぞろ歩きに人を誘う。その近くには、セント・ローレンス川の上に張り出すように、広大な公園アブラハム平原が展開する。下方には北米でもっとも古い商業地区プチシャンプランがある。ケベック市は古い歴史を誇る一方、サンロック地区にできた新しい中心街はモダンな都市としての一面も備えている。

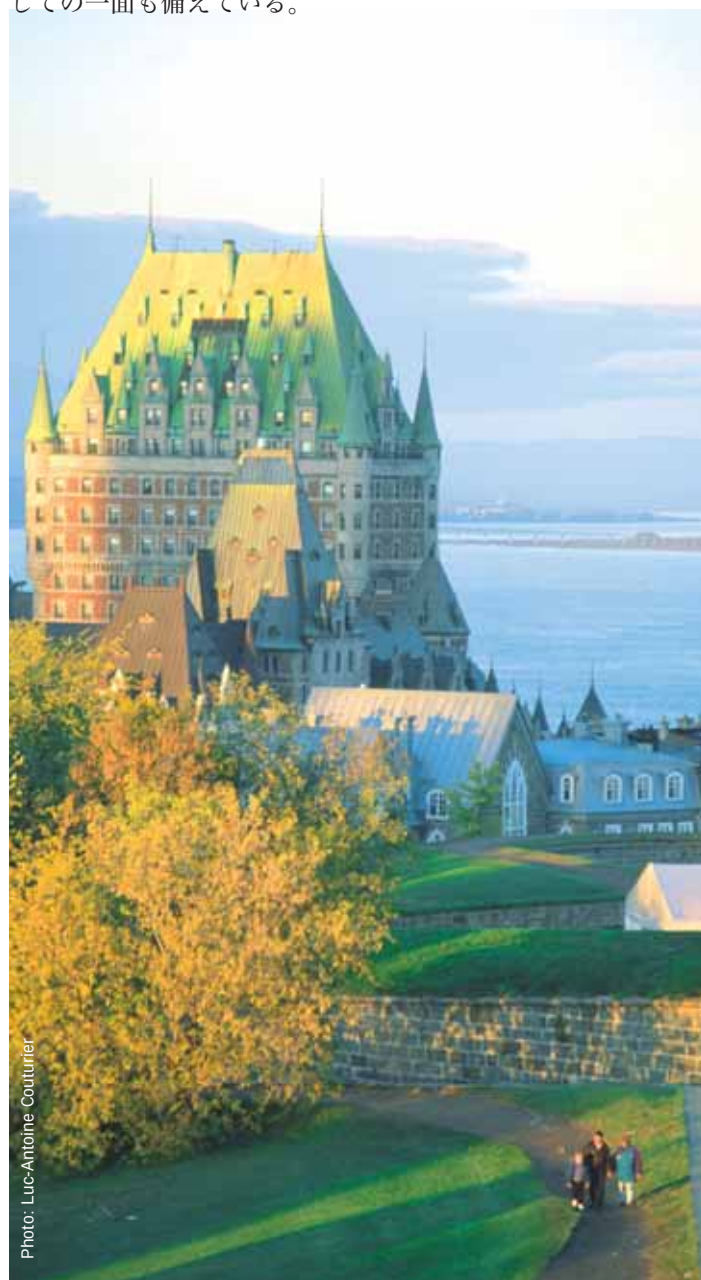


Photo: Luc-Antoine Couturier

大都市モントリオールは、モダンな高層ビル群と、歴史的な古い建築物が見事に調和し、人々を惹きつける。美術館、各種文化的フェスティバル（ジャズ、フランス語系ポップス、映画、バラエティー）、レストラン、高級ブティック、ナイトスポットなどが、流行の先端を行き、国際性豊かな魅力を感じさせる。あちこちに公園、サイクリングロード、遊歩道が整備されたモントリオールは、治安が良いということでも定評がある。

ケベック州内のほかの地方も外国からの訪問客には魅力的である。一年を通じて姿を変える風景、興味あるイベントも豊富である。セントローレンス渓谷やシャルルヴォア地方の美しい村、ガスペジーと北部沿岸地帯の雄大な景色、カントンドレストやモンテレジが提供する「ワインとチーズの道」、ローレンシャンでのウィンタースポーツ、サンジャン湖とグランノール地区でのハンティング、釣り、アウトドアでのアクティビティー、タドウサックやグリーンロードからのホエールウォッチング、ケベック州内全長4,300キロメートルにわたるサイクリングロード、など魅力は尽きない。



Photo: Marc Archambault



Photo: Pierre Beauchemin/ITCHQ

ケベック州の味覚と生活の快適さが訪れる人々の心を魅了する



Photo: Bombardier

経済

ケベック州には教育レベルの高い、良質の労働力がある。

ケベック経済はこの数十年間で、大きく変化した。長い間、天然資源が豊富な土地というイメージが優先したが、今日ではGDPの70%を占めるサービス産業と、重要性が高まる一方の先端技術産業を核とした経済構造に代わってきている。

企業の設備投資及びオペレーションコストは主要工業先進国のなかで最も低い部類に入っている。更に、新規投資や研究開発費に関して、企業は税制上の優遇措置を受けることができる一方、健全な財政運営によりこの数年間、州の予算の均衡が保たれており、2025年までには、公的債務を対GDP比25%以下までに下げる措置がとられた。

統合され、開放された経済

重要な自由貿易圏への入り口に位置するケベック州は、一大北米通商ネットワークに組み込まれている。北米自由貿易協定（NAFTA）により、ケベック州は合計4億4,000万人の消費者をかかえる市場にアクセスできる。ケベック州からの輸出のうち80%近くは米国向けである。二番目に重要な貿易

相手は、ケベックの輸出の10%を占めるEU諸国である。他の諸国とも、又、取引関係を深めており、とりわけ、中国への輸出が目覚しく、2000年以降対中国向は年平均20%近くの伸びを達成している。

革新的な経済

ケベック州は、カナダのなかでGDPに占める研究開発費が最も高い比率を示している地域である。



Photo: ©2006, HYBRIDE,
courtoisie Emergence International / GMT Productions



Photo: Ubisoft



Photo: Centre NAD

ケベック州では数多くのビデオゲーム、映画用特撮が制作されている。

先端技術の分野

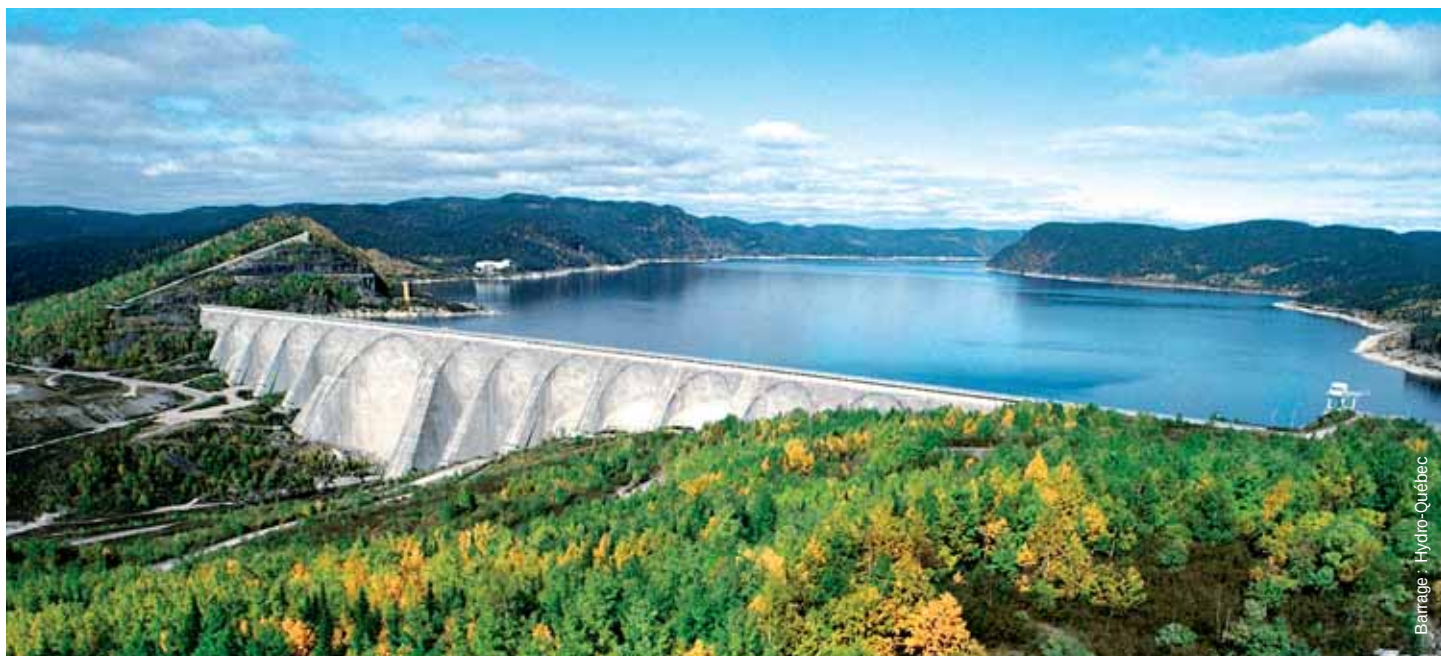
売上高で世界第6位にあるケベック州の宇宙航空産業は、ケベック経済の重要な柱の一つである。住民の200人に1人は、この産業関連の仕事をしている。またモントリオールは半径30 kmの範囲内で、航空機製造に必要な部品のほとんどを調達することが出来る、という世界でも稀有の地域である。

バイオ医薬品を中心とするライフサイエンス（生命科学）の分野で、ケベック州は北米地域におけるリーダー的存在である。特許を持つ製品を作っている国際的医薬品メーカーのトップ10社は、ケベック州で研究開発や生産をしている。実際、世界で認知され、使用されている医薬品の中で、ケベック州で発見、完成されたもののうちHIV/AIDSや喘息の治療薬が有名である。

林業、金属産業もケベック州は国際的に重要な位置を占めている。ケベック州は新聞用紙では世界第一の輸出高を誇り、紙・パルプ生産量は第3位にある。またアルミニウムの生産でも世界第3位である。

ICT産業に関してもケベック州はダイナミックな活動を展開し、北米における重要な拠点となった。情報技術を駆使して、電気通信、マルチメディア、電子部品の製造・設計など成長を続ける多くの分野でケベック州は実力を発揮している。IT分野の企業は主としてモントリオール周辺に5,000社ほどあり、ここで働く従業員は115,000人以上にのぼる。

もう一つ、ケベック州で成長途上の真只中にあるのがプラスチック成形加工業である。より機能性の高い、さらには金属やガラスの代替品となるプラスチックが今、脚光をあびている。パッケージング、建設、輸送の分野での使用が注目されており、500社で30,000人の雇用を創出している。



環境

ケベック州の「人権と自由の憲章」は、健康的で、生物多様性を尊重した環境の中で、生活する権利を有することを謳っている。

カナダ諸州のなかでケベック州は、人口一人当たりの温室効果ガス排出量が最も少ない州である。

気候変動に対するケベック州の行動計画は、温室効果ガス排出量削減計画と京都議定書目標達成へケベック州貢献とのマッチングを目指している。

ケベック州エネルギー戦略の中核をなすのは、水力と風力をメインとしたクリーンエネルギーの開発である。現在、電力の97%は水力発電でまかなっている。水資源政策のなかで、州民共通の遺産である水に対しては格別の配慮がなされている。

大型プロジェクト策定の際には、環境についての公聴会を開催し、住民に情報を伝え、環境へのインパクトについて協議を重ねた上で、合意にいたることとなっている。



当パンフレットも、100%のリサイクル紙に、バイオインクで印刷したものである。



Photo: Luc-Antoine Couturier

ご存知でしたか？
1971年以来、ケベック州はフランス語圏国際機構に政府の資格で加盟している。



Photo: Luc-Antoine Couturier

ご存知でしたか？
ケベック州は、0歳から4歳までの児童の託児サービスを一日一人わずか7ドルで実施。



Photo: Claudel Huot / OTCCUQ

ご存知でしたか？
ケベック市の犯罪発生率は、北米都市のなかで最も低い。モントリオールの犯罪発生率は、住民1,000人に対し1.9%で、世界的にも治安が極めて良い。



Photo: Jean Désy

ご存知でしたか？
ケベック市の歴史地区はユネスコの世界遺産に登録済み。メキシコ以北の都市で、要塞があるのはここだけ。



Photo: Luc-Antoine Couturier

ご存知でしたか？
バ・サンロランでは海洋関係の研究が盛んで、ことにマリンバイオの分野で優れている。



Photo: Jean Désy

ご存知でしたか？
ケベック州の象徴は、シロフクロウ、キハダカンパ、イリス・ベルシコロールである。



ご存知でしたか？
ケベック州は多文化主義を擁護し、推進することではパイオニア的存在である。ことにユネスコの「文化多様性条約」を最初に承認した政府でもある。



Photo: Jean Désy

ご存知でしたか？
モントリオールは、北米でボストンに次ぎ住民対比で大学生の数が最も多い地区である。州都には5,000人の大学レベルの研究者が住む。



ご存知でしたか？
モントリオールはフランス語圏に属する世界的大都市のひとつである。

ご存知でしたか？
モントリオールはユネスコによりデザイン都市の認定を受けている。



ご存知でしたか？
アビティビ・テミスカミング地方は貴金属、銅、亜鉛の豊富な埋蔵量で世界的に有名。



ご存知でしたか？
ケベック州民はアイスホッケーの熱烈なファンである。「モントリオール・カナディアン」は1909年に結成されたチームで、度々、優勝を飾っている。



Canadiens de Montréal

ご存知でしたか？
ケベック州民はそれぞれの季節を満喫する。冬はホッケー、スケート、スキー。夏はサイクリング、カヌー、キャンプ、トレッキング。



Photo: Marc Archambault

ご存知でしたか？
プロもアマチュアも大学間対抗スポーツ試合を応援し、ケベック人が国際舞台で活躍するスノーサーフィンやアクロバットスキーに熱狂する。子供達も大人気のサッカーに興じる。



ご存知でしたか？
サグネー・ラックサンジャン地方はアルミニウムの生産ではリーダー的存在である。



Photo: Jean Désy

世界におけるケベック州の存在

世界に門戸を開き、国際社会で活躍するケベックは、海外にある州政府事務所のネットワークを通じて、さらなるケベックの影響力の拡大を目指す



Ministère des Relations internationales

525, boulevard René-Lévesque Est
Québec (Québec) G1R 5R9
Téléphone: 418 649-2300

www.mri.gouv.qc.ca

ケベック州政府在日事務所

105-6032
東京都港区虎ノ門4-3-1
城山トラストタワー32階

**Relations
internationales**

Québec

